

平成25年度地域づくり表彰事例の概要

団体名 (都道府県名・市町村名)	活動の概要	問い合わせ先
河内の文化遺産を守る会 (茨城県常陸太田市)	明治後期に建てられた旧町屋変電所が取り壊されぬよう有志が立ち上がり平成5年に発足した会では、地域の活性化と地域資源の活用を目的とした活動を行っている。「あるもの利用で何でも手づくり」をモットーに、建物を拠点として周辺の田んぼを手づくりの行灯でライトアップし、コンサートや地域の工芸品の展示を行う「行灯(あかり)の赤レンガと銀杏まつり」を開催し、文化の薫り高いまつりとして定着させるとともに、行灯の他地域への貸し出し等、活動の輪を拡げている。また、手打ちそばや草木染手ぬぐいなど地場産品を活用した手作りの品を販売し、その利益を活動資金に充てているほか、地域資源の保存活用を原点に地域整備も手がけ、訪れる人々へ地域の良さを伝えて行くための取り組みも実施している。	 <p>行灯の赤レンガと銀杏まつり</p> <p>常陸太田市 政策企画部 企画課 0294-72-3111</p>
大磯市実行委員会 (神奈川県大磯町)	「大磯全体を市(いち)にしよう」をコンセプトに、平成22年から大磯港をメインステージとして「市」を展開。漁港＝魚だけではなく、大磯産の野菜や飲食店、大磯在住の工芸作家の作品など「旬の大磯」「そこにしかない」を味わえることを特徴としている。メインのミナト(大磯港)会場でのマーケットと、いつもの場所でそのまま参加する店舗での限定メニューや個人宅などでのイベント等で構成するマチナカ会場の2形態の連携を図り、今までビジネスに踏み出せなかった個人の出店者や工芸作家などチャレンジする人を応援する機会を提供している。こうした取組により、地域資源の高付加価値化への挑戦のきっかけとなる等、港を中心にコミュニティビジネスとして大磯の活性化に寄与している。	 <p>大磯市の様子</p> <p>大磯町 産業環境部 産業観光課 0463-61-4100</p>
水源の里連絡協議会 (京都府綾部市)	集落自体の存続が危機的状況に直面している集落を「水源の里」と位置づけ、過疎化に歯止めをかけ、集落の振興と活性化を図るため、平成18年12月に全国に先駆けて制定された「綾部市水源の里条例」に基づき、水源の里集落相互の連絡調整及び意見交換を行うため、地域住民による自主組織として設立された。空き家の有効活用等による水源の里への定住促進、特産品でもあるフキ園オーナー制度等による都市住民との交流推進、柄の実入りあられ等特産物の開発による地域産業の開発と育成の3つの方針のもと、行政と水源の里5集落が一体となって活動している。平成24年度から条例の対象集落が拡大され、協議会には新たに4集落が加わり、活動の輪が広がっている。	 <p>フキオーナー園の様子</p> <p>綾部市 水源の里・ 地域振興課 0773-54-0095</p>
松山離島振興協会 (愛媛県松山市)	2市1町合併による新松山市の誕生を契機に、忽那諸島と呼ばれる松山市の有人離島9島の活性化に取り組む自主活動組織として、平成18年4月に発足した。合併前はあまり交流がなかった9島のネットワークづくりを日頃から重視し、各島の連携を図りながら、市との協働の中、忽那諸島での様々な取組の窓口や受け皿としての役割を果たしている。特に、クルージング事業を計8回開催するなど、島の魅力再発見と観光交流の促進のための活動に力を注いでいる。また、毎月第4土曜日には、観光地である道後地区で開催される道後湯上がり朝市に休まず出展し続けているほか、各種のイベントにおいても特産品販売や島のPR活動を行っている。	 <p>忽那ロマン探訪クルージングの様子</p> <p>松山市 総合政策部 企画政策課 089-948-6943</p>
恵比須DE まちづくりネットワーク (佐賀県佐賀市)	佐賀市内に数多く存在する恵比須像に着目し、恵比須を活かしたまちづくり活動を目的に、市民や商業者等を中心に平成15年に発足した。恵比須像の所在調査から活動をスタートし、その翌年からは案内ガイドが恵比須像を紹介しながら街歩きを行う恵比須巡りツアーを実施し、これまでに3,000名以上を案内している。平成20年度からは、佐賀市の一大イベントである佐賀城下ひなまつりにあわせて、恵比須の展示会を開催。その後、恵比須像の数日本一の認定、恵比須八十八ヶ所巡りのスタート、九州恵比須サミットの開催など、その活動の幅を広げている。また、市内の公民館や小学校での恵比須講座や、九州各地からの視察受け入れなど、地域に根ざした活動を展開している。	 <p>様々な形・格好をした恵比須像</p> <p>佐賀市 経済部 商業振興課 0952-40-7106</p>
小川作小屋村運営協議会 (宮崎県西米良村)	自立・自走の集落運営を目指す新たな山村集落のモデル形成を目的に平成21年2月に発足し、現在、地域住民を中心に役員5名・会員26名が活動を行っている。「平成の桃源郷」をキーワードに、自然(景観)や生活文化などを活かした新たな地域づくりに取り組んでおり、公設民営の施設「おがわ作小屋村」の運営をはじめ、「カリコポーズの山菜まつり」など地域資源を活かした活性化イベントの実施や、おがわ花見山づくりなどの地域景観づくり活動を行っている。特徴的な取り組みとして、集落内の食材を中心に小皿16枚に盛り付けた「おがわ四季御膳」の提供をはじめとする食堂・物産販売所等の運営は、地域資源を最大限に活用し創意工夫を重ねたスタイルが支持され、開始4年目となった平成24年度も地域への経済効果等、着実な成果を上げている。	 <p>おがわ四季御膳</p> <p>西米良村 総務企画課 0983-36-1111</p>